

広報部門

歩く広告塔！下水道ポロシャツによる広報展開

沖縄県

広報を意識した「下水道ポロシャツ」を作成

下水道ポロシャツ（通称：ゲスポロ） のコンセプト

- ・ 下水道のイベントをはじめ仕事着や普段着など様々な機会に着用できるデザイン
- ・ 下水道事業を実施中の県内25市町村と流域下水道のマンホールをデザイン
- ・ 沖縄県下水道事業の事業開始50周年記念（1964～2014年）
- ・ 下水道への愛を確かめるべく、自費で購入



県内下水道実施市町村職員も150枚購入



子供達にも大人気の下水道ポロシャツ♪
12色のラインナップ！



PR ポイント！

デザインマンホールのパイオニア的存在である沖縄県において「汚い」イメージの下水道を「オシャレ」なイメージに変える「下水道ポロシャツ」を約 350 枚作成し、一人ひとりが歩く広告塔として下水道広報に取り組んでいる。

- ・ 下水道ポロシャツは、個人の意思により自費で購入しているため、公費等の支出ゼロ。
- ・ 県内外下水道関係者、市町村職員、友人・知人等が購入しそれぞれの思いで「下水道ポロシャツ」を着用。
- ・ 様々な機会に「下水道ポロシャツ」を着用し、歩く広告塔として広報展開。
- ・ ポロシャツを着ることで、下水道広報の重要性を再認識し、沖縄県全体で新たな広報活動の進化を目指す。

Key Person



土木建築部下水道課
宮城 桐吾

当初は「下水道Tシャツ」を作成する予定でしたが、関係者の意見などを取り入れた結果、職場で着用できるようなデザイン性を重視した「下水道ポロシャツ」に決定しました。文字位置や書式などのディテールに最後までこだわり抜いた渾身の力作です。

また、なるべく多くの人に下水道ポロシャツを購入してもらうため、ポロシャツをPRする「楽しい案内文♪」を作成し、下水道広報と下水道ポロシャツの関連性について理解を深めてもらえるように努力しました。

「下水道ポロシャツ」の追加購入希望が予想以上にあり、反響に驚いています。